

## イベント情報

Shape your world



Ritsumeikan  
Asia Pacific University

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学  
2016年12月9日 配信  
APU リリース 2016-74

### 日本語でつうじるけん! 『やさしい日本語』ワークショップ

熊本地震の経験から～多文化共生社会における言語マイノリティの防災を考える～  
別府市役所 レセプションホール 12月17日(土)14:00～

現在大分県別府市では、本学の国際学生約3,000名を含む※4,208名の外国人住民が暮らしています。このような環境で、国籍や民族の異なる人々がお互いの価値観や文化的な違いを認め合い、尊重し合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくことができる多文化共生社会の構築推進を目指しています。下記のとおり、**別府市とAPUの言語教育センター(CLE)が共同で多文化共生フォーラム『やさしい日本語』ワークショップを開催いたします。**2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて多民族(ダイバーシティ)を受け入れる日本社会の防災や災害時のサポートを考えなければいけません。2016年4月の熊本地震で震度6弱を記録した大分県別府市の経験を他の地域や都市にも広めたいと考えています。体験からの学びを、未来に活かしていく地方の取り組みをぜひご取材ください。

本ワークショップは、別府市民の方々とAPUの教員、学生と一緒に「やさしい日本語」の基本コンセプトを学び、災害時だけにかぎらず、平常時の公的文書などについても、参加者間で話し合い、コミュニケーションの観点から「より伝わりやすい日本語＝やさしい日本語」を考える機会とすることを目的としています。この「やさしい日本語」とは、災害時に外国人住民が直面する言語や習慣の壁による不安要素を少しでも取り除く情報発信の方法として全国で研究、取り組みが始まっているものです。例えば、『土足厳禁』を『靴を脱いでください』と言い換えるなど**伝わる日本語**を使うという考え方で、本ワークショップでは、APUに在籍する国際学生も加わり、実践的に外国人にとってわかりやすい表現、わかりにくい表現を学びます。

※平成28年11月30日現在住民基本台帳より

#### ワークショップ日程

「やさしい日本語」ワークショップ 日本語でつうじるけん! を広めよう

1. 日程: 2016年12月17日(土)
2. 時間: 14:00～17:00
3. 対象: 別府市多言語支援センターボランティア(別府市民)、APU日本語教員、興味がある一般の方(50～60人)
4. 会場: 別府市役所 レセプションホール(定員100名)
5. 一般参加申込: 別府市 ONSEN ツーリズム部 文化国際課 TEL:0977-21-1131

#### ワークショップ概要

1. 講師による「やさしい日本語」の考え方等についての講義(1時間程度)
2. 別府市民の方々とAPU教員混合のグループで、公文書などを「やさしい日本語」に直す実習
3. それぞれのグループが直した文章を、APUの国際学生による、どれが一番わかりやすいかの採点
4. 講師講評

#### 講師情報

やさしい日本語ワークショップ

講師: 森 篤嗣(もり あつし)教授(帝塚山大学 現代生活学部こども学科)

著書: 「やさしい日本語」は何を目指すか: 多文化共生社会を実現するために(2013・ココ出版)の共編者

その他著書多数 [http://researchmap.jp/MORI\\_Atsushi/](http://researchmap.jp/MORI_Atsushi/)

※取材ご希望の際は、下記問い合わせ先へ **12月16日(金)正午まで**にご連絡くださいますようお願いいたします。

【本発表資料のお問い合わせ・取材申込】 学長室(広報)担当: ジョーンズ、宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 住所: 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1

公式 WEB:<http://www.apu.ac.jp/home/> フェイスブック:<https://www.facebook.com/RitsumeikanAsiaPacificUniversity/>